

研究会設立総会並びに第1回研究会を開催

平成27年12月19日（土）午後、広陵町内で開催した研究会設立総会に22名の会員が出席し、研究会規約の承認、会長・副会長の選出、事業計画・予算の承認を行いました。その後、講師に浪越副知事、広陵町山村町長、来賓に上牧町今中町長、王寺町平井町長を迎え第1回の政策研究会を開催いたしました。



設立総会で会長・副会長を選出！

会長 乾 浩之 県議

副会長 上牧町辻 誠一 町議 王寺町西本集一 町議
広陵町笹井由明 町議 河合町谷本昌弘 町議

第1回政策研究会の概要

① 浪越副知事が「奈良モデル」の取り組みを紹介

県庁から浪越輝雄副知事にお越しいただき荒井知事が県政の目玉として推進されている「奈良モデル」の取り組みを紹介していただきました。

「奈良モデル」とは

奈良県と県内市町村、市町村同士が連携・協働して行政の効率化や地域の活力の維持・向上を図っていく、奈良県という地域にとって最適な地方行政の仕組みを目指す取組。

「奈良モデル」の基本的考え方

- (1) 県と市町村は、対等な関係であり、協働に努めるパートナーであること
- (2) 住民に身近な行政サービスを担う市町村を県が支援すること
- (3) 県と市町村が有する資源（職員・予算・施設など）を県全体で有効活用すること

◎これまでの取組成果

- (1) 消防の広域化により消防救急技術の高度化や消防救急無線のデジタル化に対応
- (2) 南和地域の広域医療提供体制の再構築により平成28年4月に南奈良総合医療センターを開設予定
- (3) 市町村管理の道路施設補修工事の支援により道路インフラの長寿命化を推進

◎現在推進中の取組

- (1) 県営水道ファシリティマネジメント（上牧町、広陵町などが水源を県営水道に転換）
- (2) 市町村税の税収強化（北葛4町中心に近隣7町でネットワーク型協働徴収を実施）
- (3) 移動ニーズに応じた交通サービスの実現
- (4) 県と市町村の協定によるまちづくり
- (5) 地域包括ケアシステムの構築（上牧町、王寺町、河合町が近隣4町とともに参画）
- (6) 市町村国民健康保険のあり方検討
- (7) 市町村公営住宅の管理の共同化
- (8) ごみ処理共同化（天理市を中心とするごみ処理広域化計画の事業化に向け協議中）
- (9) 学校給食の共同化（広陵町・香芝市共同中学校給食センターに県が無利子貸付で支援）

②山村町長が「広陵町の取り組み」を紹介

地元広陵町の山村吉由町長から町行政の現状と課題を中心に町の取り組みをご紹介いただきました。

広陵町は、まだ人口増加が続いているものの他の自治体同様に高齢化が進んでおり、企業も多く財政豊かに思う方も多いと思うが、経常収支比率が高く財政状況は厳しい。より良い行政サービスを提供するため、広域行政事務組合などで近隣自治体と連携しており、最近では、ほっかつプレミアム商品券の発行や広陵町・香芝市共同中学校給食センターの整備など新たな連携も進めている。

さらに、畿央大学「かぐやプロジェクト」などの大学との連携、地区担当職員の配置や住民懇談会の開催による地域との連携も進めている。まだまだ課題が山積みであるが北葛4町で連携して取り組んでいきたい。

③質疑応答

◎「郡部の住居表示について」

郡部に住んでいると住所の表記がどうしても長くなるので、もう少し短い表記を検討できないでしょうか？

(浪越副知事)

様々な分野で広域化の話が進んできているが、住居表示のことまで進むかどうか。

◎「県営水道の水源について」

県営水道の水源は足りなくなる心配がないのでしょうか？

(浪越副知事)

県営水道の供給割合を少々増やしても対応できるとみています。

◎「大和川水系の美化について」

大和川水系の水質はだいぶ改善したが、中州などにビニール袋がたまって美観を損ねている。

大規模なクリーン作戦などできないでしょうか？

(浪越副知事)

県として地域と連携しエリア単位で河川美化の枠組み作りに取り組んでいるところ。



浪越副知事の講演

